

ご自由にお持ち帰り下さい。



萌

もえる
SPRING, 2012

NISHI YOKOHAMA INTERNATIONAL HOSPITAL

INFORMATION

新年度のご挨拶
診療科紹介—泌尿器科

VOL. 44



医療法人
横浜博萌会

西横浜国際総合病院

特集
「くも膜下出血」は
予防が肝心!

優しい易しい介護術
「長座位を安定させるコツ」

折り紙セラピー
鉄人28号

❖ 新年度を迎えて

院長 小松 永二



昨年3.11、わが国は未曾有の大震災を経験しました。皆様も、生命の大切さ、人との絆の大切さなど多くのことを痛感した1年であったと思われます。当院は幸い建物、設備の大きな損害は受けませんでしたが、計画停電などによる混乱が生じ、皆様に多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。今回の震災を経験し、職員一人ひとりがあらためて当院の使命、生命と健康の大切さを再認識し、「安心して住める街づくり」への取り組みを心に期しております。

当院は昭和63年開院以来、地域密着型の病院として、さらには高度な医療を地域に還元する病院として診療を行ってまいりました。診療体制、医療設備の充実に努め、良質な医療が提供できる体制が出来上がってきたと感じております。「西横浜にきてよかった」「西横浜が近くにあったよかった」と思っていただけの病院に近づきつつあるとも感じております。しかしながら当院の規模であらゆる疾患、状況に対応することは不可能です。今後の発展として、当院の得意とする分野でさらなる貢献をしてまいりたいと思っております。

一般整形外科疾患の幅広い対応、脊椎外科による高度な手術医療、外科・消化器科による内視鏡検査と治療、短期入院手術、耳鼻咽喉科による突発性難聴に対する高気圧酸素療法、泌尿器科による結石破碎、高度な透析医療、回復期リハビリ病棟による良質なリハビリテーションの提供など、各科が特色ある診療で地域への貢献をしてまいります。

また病院全体での取り組みとして「利便性の高い病院」の実現を目指しております。電話予約検査、当日の予約なしでの即座の検査、当日の検査結果説明、これらによる当日よりの治療の開始など、忙しい現代社会において患者様のご負担を少しでも軽減できる利便性の高い病院へと改革を進めてまいります。

またこれからわが国は超高齢化社会を迎えようとしております。当院は従来高齢者医療にも力を注ぎ、内科を中心に全科で対応してまいりました。今後は当院の主要施策として今まで以上に高齢者医療の取り組みに力を注ぎ、高齢者に対する迅速かつ的確な医療、在宅医療、高齢者入所施設とのネットワークによる入院医療などを推し進めてまいります。5月には在宅訪問医療専門の在宅クリニックを開設いたします。院内の在宅部門と共に戸塚の在宅医療に少しでもお役に立ちたいと考えておりますので、ご相談などがございましたらお気軽にお問い合わせください。

この街には多くの病院があります。その中から西横浜を選んでいただけるよう、必要とされるよう、職員全員がまごころと使命感を持って医療サービスを提供させていただきます。当院は常勤医師26名、総職員390名を擁し、この充実した人員体制により、皆様が身近に感じる病院として、急性期から在宅・居宅医療までシームレスな医療サービスを提供して地域へ貢献してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科 ～尿路結石症について



泌尿器科部長 兵地 信彦(ひょうち のぶひこ)

略歴 専門：尿路悪性腫瘍、尿路結石症、前立腺肥大症
資格：日本泌尿器科学会認定専門医・指導医

Q1 尿路結石症ってどんな病気ですか？

A1 おしっこの通り道、つまり腎臓・尿管・膀胱・尿道のどこかに、尿中に溶けていた塩類が結晶化して「石」を形成する病気です。

全国調査によると患者数は年々増加しており、男性は7人に1人・女性は15人に1人の割合で一生に一度は尿路結石症にかかるとされています。一度かかった方は再発することも多く、残念ながら約半数が二度三度と悩まされることになります。原因としては食生活・肥満・メタボリック症候群と密接な関連があり、飽食ニッポンを代表する国民病です。

Q2 とても痛い病気と聞きましたが？

A2 尿管結石は「疝痛発作」と呼ばれる突然の腹痛を起こします。この痛みを経験した女性は口をそろえて「陣痛の何倍も痛かった」と表現され、救急車で病院へ運ばれる患者さんも少なくありません。痛みのほかに血尿や吐き気など消化器症状を伴うことが多いですが、頻尿や排尿時痛など膀胱炎のような症状も現れることがあります。

また、長期に結石を放置しておくことと細菌感染を起こして敗血症や腎不全といった生命にかかわる病態に進展することもありますので早期の診断と治療が必要です。

Q3 診断にはどんな検査が必要ですか？

A3 腹部単純CT検査で結石の位置と大きさを把握することが重要です。当院では可能な限り当日検査でCT検査を行い、即日治療方針をたてるよう心がけています。

また、腹痛や血尿を起こすほかの病気との鑑別のため、超音波検査や内視鏡検査・造影検査が必要となることがあります。

Q4 治療はどんな方法がありますか？

A4 大きさが5mm以下の結石については、鎮痛剤で痛みをコントロールしながら水分摂取を積極的に行うことにより比較的速やかに自然排石が可能です。大きさが5mmを超えると排石に時間がかかり痛み悩まされることが多いので破碎治療をお薦めしています。体外衝撃波結石破碎術(ESWL)と呼ばれている方法で、身体の外から弱い衝撃波を結石に伝えて石を細かくして体外へ排出するという治療です。特別な麻酔も必要なく、治療時間も1時間程度で終了します。

当院では患者さんの負担を軽減するため、疝痛発作が起こってから可能な限り早期に外来でESWLを行うことを基本方針としています。さらに20mmを超えるような大きな結石については、内視鏡による結石治療(TUL/PNL)の適応でこの場合は麻酔と入院が必要になります。やはり、尿路結石は小さいうちに早期治療しておくことが重要ですね。

Q5 予防法はありますか？

A5 生活の工夫と心掛けで、結石の予防は可能です。まずは、水分摂取を心がけること！尿が濃くなると結石ができやすくなります。特に暑い季節は1日2リットルを目標に水分を補給してください。次に、バランスのよい食事を摂ること！特に動物性タンパク質や脂肪の摂りすぎに注意しましょう。

メタボリック症候群や肥満を解消することで、尿路結石の予防も期待できます。再発を繰り返す方にはクエン酸製剤の内服が有効ですが、まずは食生活の改善が重要ですね。

以上、尿路結石症についてQ&A形式で簡単に説明させていただきました。結石はもちろん、おしっこの不調でお悩みの方もどうぞお気軽にご相談ください。

● 職員紹介



総合案内
中村 文彦

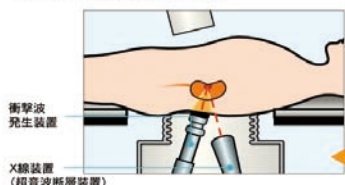
当院は構造上「正面玄関は3階」になります。来院者様がフロアや院内で迷われていたり、お困りの様子をお見受けした時に、お声をかけてご案内をさせていただきます。

外来エレベーターは、車いす仕様ではない上に職員が目が届きづらいところです。安全を心がけて、業務に取り組んでおります。

案内業務を始めて一年余。マネージメントの「能力」より、ヘルプの「精神」で皆様と接する事が、私に合った流儀と思っています。お気軽にお声を掛けてください。

体外衝撃波破碎術(ESWL)

● 体外衝撃波結石破碎装置



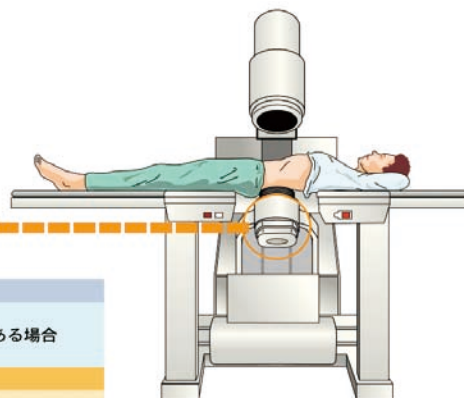
体外衝撃波破碎術の適応禁忌

- ・妊婦
- ・コントロール不十分な出血傾向のある場合
- ・腎動脈瘤

体外衝撃波破碎術の適応要注意

- ・尿路に狭窄がある場合
- ・極度の肥満、小児(焦点合わせが困難な場合)

尿路結石症診療ガイドライン(2002)より



病院理念 安心・安全の医療—患者様と共に—
基本方針 良質な医療の提供・地域医療への幅広い貢献・生命と人権の尊重

診療受付時間	平日・土曜とも	午前 7:30～11:30	診療科目	内科(一般・腎臓・呼吸器・循環器)・外科 消化器科・脳神経外科・整形外科・小児科 眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・精神神経科 麻酔科・リハビリテーション科
	平日のみ	午後 0:00～ 4:30		
診療開始時間	午前 9:00～	午後 1:30～(平日のみ)		
救急外来	救急・急患の方は24時間の診療体制			
付属施設	腎・透析センター・健康管理センター			
	西横サービスセンター(居宅介護支援事務所)・ケアフレンズ横浜(訪問介護) 訪問看護ステーションにしよこはま(訪問看護)			

介護保険事業のご紹介

当院では、地域の皆様が住み慣れた環境で安心して暮らしていただけるように、医療に取り組むとともに介護保険事業にも力を注いでいます。ご利用者・ご家族のご意向を尊重しながら対応いたしますので、お気軽にご相談くださいませ。

西横サービスセンター

TEL 045-871-2540

西横サービスセンターは、医療機関所属の居宅介護支援事業所として、医療依存度の高い要介護3～5・難病・癌末期などの方を積極的に担当しております。5名の常勤ケアマネジャーが、主治医や看護師などの医療スタッフ・介護サービス事業所・地域包括支援センター・区役所などと連携を図り、利用者様が住み慣れたご自宅での療養生活を不安なく送っていただけるようにサポートしております。

また、地域医療連携室のソーシャルワーカーとも連携し、介護保険サービスに留まらず、様々なサービス(社会資源)の情報提供や手続きのサポートも行っています。ご相談は無料です。



通所リハビリテーション

TEL 045-871-1368

通所リハビリテーション(デイケア)は、介護保険認定で要介護1以上の方を対象としてサービスを提供しています。送迎・問診・リハビリテーション・レクリエーション・作業活動・お食事などを通して、ご利用者様の心身機能の回復や日常生活動作の維持・向上を目的としています。入浴サービスは行っておりませんが、時間に余裕を持って心身機能を維持・向上させるための活動をしていただくことが可能です。

送迎は専用車両を運行しておりますので車椅子の方も利用していただけます。安心・安全と心のこもったリハビリ・介護・看護を提供します。



ケア・フレンズ横浜

TEL 045-865-1707

ケア・フレンズ横浜は、介護保険をお使いの方や障害をお持ちの方に対して様々なサービスを提供しています。

- ①訪問介護(身体介護・生活援助など)
- ②介護タクシー(通院送迎、旅行など)
- ③福祉用具レンタル(介護用ベッド・車椅子など)
- ④福祉用具販売(ポータブルトイレ・シャワーチェア・オムツなど)
- ⑤住宅改修(手すりの取付・床段差の解消など)

有資格者(介護福祉士・ヘルパー・第二種運転免許取得者・救急救命士・福祉用具専門相談員・福祉住環境コーディネーター)が誠意を持って対応いたします。介護の事ならお任せください。



(財) 日本医療機能評価機構認定病院 Ver.5 認定第 GA220-2 号

医療法人
横浜博萌会

西横浜国際総合病院

〒245-8560
横浜市戸塚区汲沢町56
TEL.(045)871-8855
<http://www.nishiyokohama.or.jp>

